

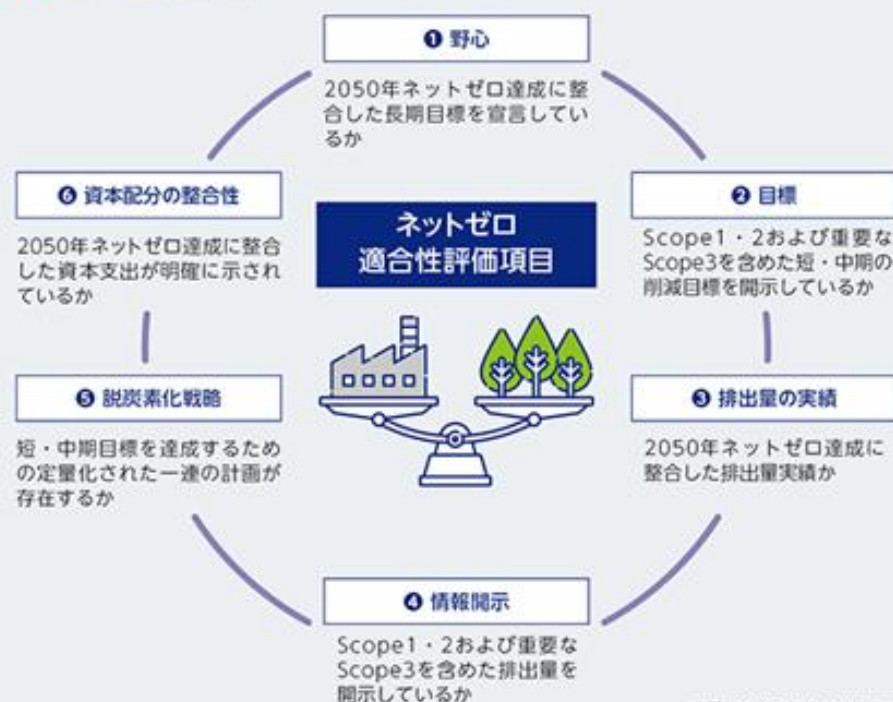
気候変動 | 2025年度ネットゼロシナリオ適合性評価について

1

- ◆ 当社では、NZAM*1が推奨する方法論の一つであるPAII*2のNZIF*3などにに基づき、投資先企業がネットゼロシナリオにどの程度適合しているか評価する手法を整備し、2022年度から毎年判定を実施しています。
- ◆ 評価に当たっては、GHG排出量の多いセクターを「高インパクトセクター」、その他のセクターを「低インパクトセクター」と定義し、6つの評価項目で判定をおこないます。
- ◆ 評価結果は5段階に分類され、そのうち、①ネットゼロ達成、②ネットゼロシナリオに整合、③ネットゼロシナリオ整合に向かっている、とされた企業を「ネットゼロシナリオ適合」企業と位置付けています。
なお、実際の判定では、ISS ESGデータをはじめとする外部データに加えて、当社アナリストの調査も含めて評価しています。

*1 Net Zero Asset Managers initiative
*2 Paris Aligned Investment Initiative
*3 Net Zero Investment Framework

■ NZIF 6つの評価項目



■ ネットゼロ判定の5段階

判定の5段階	5段階の定義
① Achieving net zero: ネットゼロ達成	現在の排出量実績がネットゼロを達成しているかそれに近い状態にある企業で、目標を達成することが見込まれる投資計画やビジネスモデルがあるもの
② Aligned to a net zero pathway: ネットゼロシナリオに整合	評価項目①～⑥を満たしている(低インパクトセクターにおいては、②③④を満たしている) 評価項目③について設定された目標に沿った適切なパフォーマンスを長期的に達成している
③ Aligning towards a net zero pathway: ネットゼロシナリオ整合に向かっている	評価項目①②④⑤をいずれも満たしている
④ Committed to aligning: ネットゼロシナリオ整合にコミット	評価項目①を満たしている(高インパクトセクターのみ)
⑤ Not aligned: ネットゼロシナリオに整合していない	上記に当てはまらないすべての企業

出所：NZIFをもとに当社作成

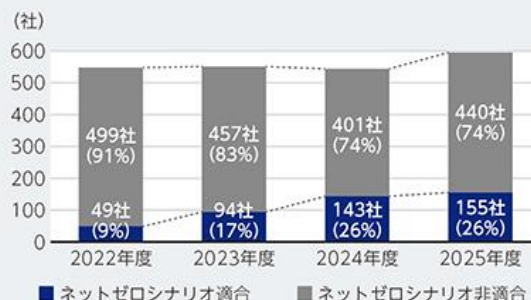
気候変動 | 2025年度ネットゼロシナリオ適合性評価について

2

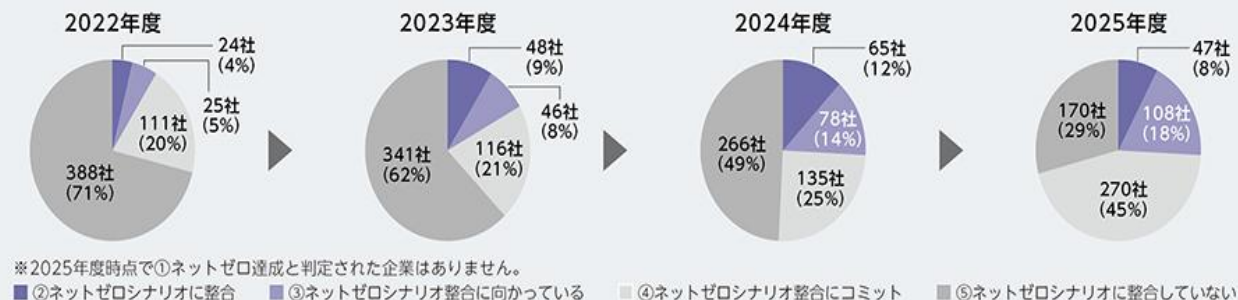
- ◆ 2025年度のネットゼロ適合性評価では、判定対象の日本企業595社のうち26%に相当する155社が「ネットゼロシナリオ適合」と判定されました。
- ◆ 「ネットゼロシナリオ適合」企業は、2022年度の49社(全体の9%)から年々増加しており、当社がエンゲージメントを行う国内の投資先企業において、ネットゼロに向けた取組みが着実に進展していることが示されています。また、今年度の評価における主な変化としては、NZIF評価項目②の短・中期目標を設定・開示する企業が昨年度の158社から206社に増加したことが挙げられます。
- ◆ 当社では、個別企業のネットゼロ評価と各産業におけるトランジションパス(ネットゼロに移行する経路)分析に基づき、ネットゼロ・エンゲージメントを重点分野として取り組んでいます。これらの判定結果は、投資戦略や企業のファンダメンタルズ分析におけるESGインテグレーションのインプット情報として活用しています。

2段階評価	5段階評価
ネットゼロシナリオ適合	① Achieving net zero ネットゼロ達成
	② Aligned to a net zero pathway ネットゼロシナリオに整合
	③ Aligning towards a net zero pathway ネットゼロシナリオ整合に向かっている
ネットゼロシナリオ非適合	④ Committed to aligning ネットゼロシナリオ整合にコミット
	⑤ Not aligned ネットゼロシナリオに整合していない

■ ネットゼロ2段階評価



■ NZIF5段階評価



■ 各評価項目の比較 (2023年度～2025年度)

野心



目標



情報開示



脱炭素化戦略

